

ロシア沿海地方経由の国際物流

ERINA Policy Proposal Seminar
2015年4月22日、都道府県会館
(公財)環日本海経済研究所 新井洋史

本日の報告の内容

1. イントロダクション

- ロシア沿海地方の地理的状況
- 北東アジア輸送回廊・GTR輸送回廊

2. 沿海地方経由の三つの物流

- 資源輸出の出口(石油、石炭、天然ガスなど)
- シベリア鉄道利用によるトランジット輸送
- 中国東北部発着貨物のトランジット輸送

3. ERINA・綏芬河市政府の共同研究

- 綏芬河発の輸送実験
- 問題の構造
- 活性化に向けた提言



ロシア沿海地方の地理的状況
北東アジア輸送回廊・GTR輸送回廊

イントロダクション

沿海地方の地理的状況



(ERINA作成)

北東アジア輸送回廊ビジョン



© ERINA



「大図們江イニシアチブ (GTI)」の輸送回廊



Figure 1: Trans-GTR transport corridors.



GTI Transport Board

Established in 2009

Meetings

- 2010: Busan, ROK
- 2012: Sokcho, ROK
- 2013: Vladivostok, Russia
- 2014: Manzhouli, China
- 2015: Ulaanbaatar, Mongolia



Purpose

To provide economic cooperation in the Greater Tumen Region with the proper transport infrastructure and logistic network

GTI Transport Board guiding documents

Terms of Reference for the GTI Transport Board (2009, revised 2012);
GTI Transport Cooperation Program 2010-2013 (2010, extended 2012);
GTI Regional Transport Strategy and Mid-term Action Plan 2013-2016 (2013).

GTI運輸部会が実施した調査（報告書）

事業名	資金源	成果
GTI Transport Corridors Study Completed 2011-2013	GTI ROK	GTR地域運輸戦略 地域総括レポート 国別レポート（GTI各国 + 日本=5か国）
Study on Trans-GTR Transport Corridors: Financing Infrastructure Development Completed 2014	GTI GIZ	報告書の要点: GTRにおけるPPP活用の可能性 資金調達枠組みに関する選択肢
Study on Software Support to the Operationalization of Transport Corridors in the GTR Completed 2014	GTI	報告書の要点: 「GTI越境輸送協定」の提案 その他、法的環境改善の選択肢
Evaluation Study of Sea-Land Routes in Northeast Asia Completed 2014	KMI	報告書の要点: GTRにおけるフェリー航路の現状分析 フェリー利用の複合一貫輸送振興策

第5回GTI運輸部会 & GTR陸海輸送ルート促進セミナー
2015年6月15日・ウランバートル



資源輸出の出口(石油、石炭、天然ガスなど)
シベリア鉄道利用によるトランジット輸送
中国東北部発着貨物のトランジット輸送

沿海地方経由の三つの物流

沿海地方港湾からの資源輸出



貨物取扱量が多い極東港湾(上位8港)
(2013年、万トン)

	合計	石炭・ コークス	原油	コンテナ 貨物
ポストーチヌイ港	48,272.2	21,743.5	21,292.8	4,316.0
ワニノ港	23,770.1	17,568.1		11.6
ナホトカ港	18,353.3	6,400.6		94.7
プリゴロドノエ港	16,250.6		5,416.0	
ウラジオストク港	14,550.3	1,717.8		5,259.8
デ・カストリ港	7,027.8		7,027.8	
ポシェット港	5,609.8	4,121.8		
シャフチョルスク港	2,074.5	2,074.5		

ロシア極東のエネルギー開発・インフラ整備



© 2015 Economic Research Institute for Northeast Asia
All rights reserved

ハサン～羅津鉄道＋羅津港：石炭輸出

露朝合併事業として実施
 2013年夏 鉄道改修完了
 2014年夏 港湾改修完了



面積	21ha
岸壁延長	477m
水深	12m
年間取扱能力	426万トン

出典：ロシア鉄道提供資料

ロシア極東港湾の開発計画

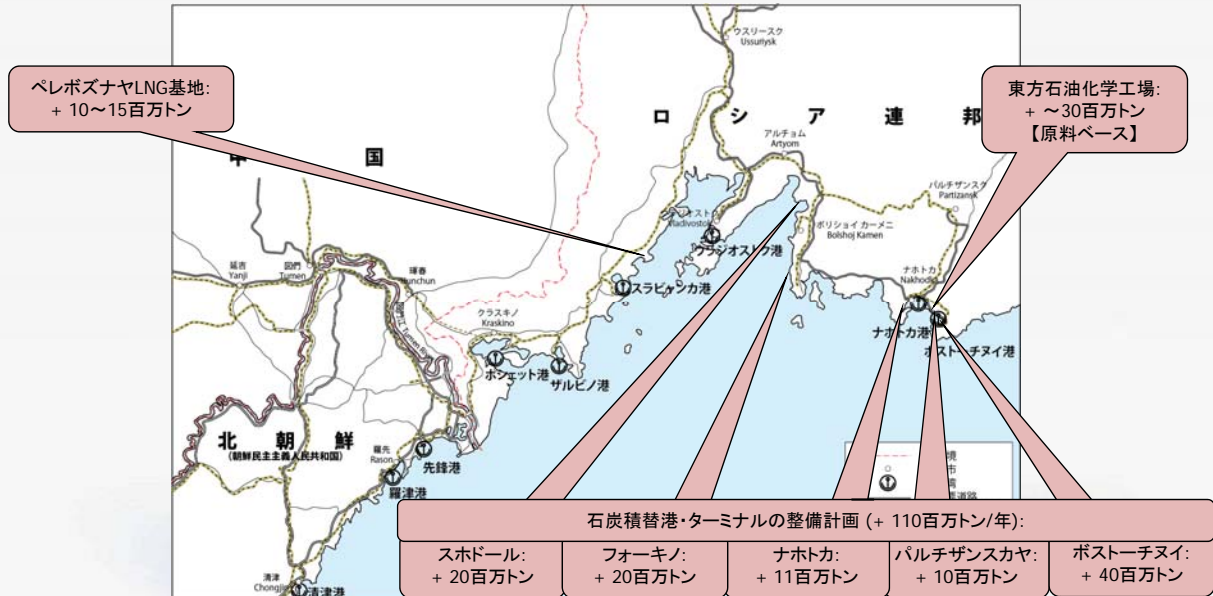
2030年までのロシア海洋港湾インフラ発展戦略(2012年9月)

2012年の極東港湾取扱実績: 1億3,440万トン

- 2030年見通し=エネルギー・資源シナリオ: 2億3,470万トン

- 2030年見通し=イノベーションシナリオ: 2億7,050万トン

(19件のプロジェクトを掲載(熟度はさまざま。全部を網羅しているわけではない。))



© 2014 Economic Research Institute for Northeast Asia
All rights reserved

シベリア鉄道・バム鉄道近代化

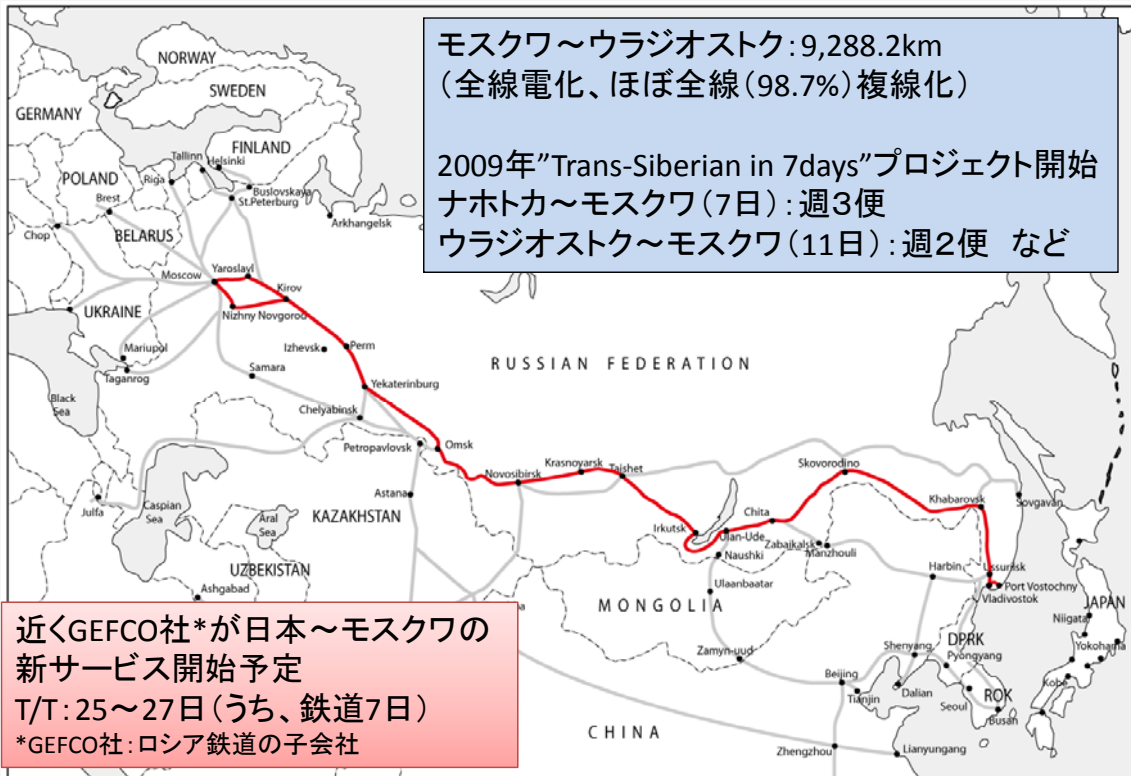
- 2020年までに、6600万トン/年の輸送力増強
- 石炭等の鉱物輸送需要の増加に対応
- 約1兆円を投入(駅等の新設・改良、複線化、発電所整備等)



出典:「2015北東アジア経済発展国際会議イン新潟」でのロシア鉄道プレゼン資料

© 2015 Economic Research Institute for Northeast Asia
All rights reserved

“Trans-Siberian in 7days”



Economic Research Institute for Northeast Asia, Niigata, Japan, 2007

【参考】2015NICE セッションC:ヨーロッパとアジアを結ぶ輸送ルートの新展開

北極海航路、新シルクロードなど新たな輸送ルート構築に向けた動きや、従来からのシベリア鉄道ルートへのサービス改善の努力など、最新の取り組みを踏まえつつ将来の展望を議論。

<http://www.erin.or.jp/activities/seminars/nice/2015nice/sessionc/>

北極海航路の現状と今後の展望

- 柴崎隆一(国際臨海開発研究センター研究主幹・国際港湾政策研究所政策研究室長)

「新シルクロード」という名の国際交通の新たな形—その整備と運営について

- 町田一兵(明治大学商学部専任講師)

ロシア連邦・連邦税関庁の最近の活動状況

- アレクセイ・スホルコフ(駐日ロシア連邦大使館参事官/ロシア連邦税関庁駐日代表)

ロシア鉄道の東部プロジェクト 【資料提供】

沿海地方で検討中の運輸・ロジスティクスインフラ整備プロジェクト



琿春～マハリノ鉄道+ザルビノ港

琿春～マハリノ鉄道
 2013年夏運行再開
 石炭を中心に輸送

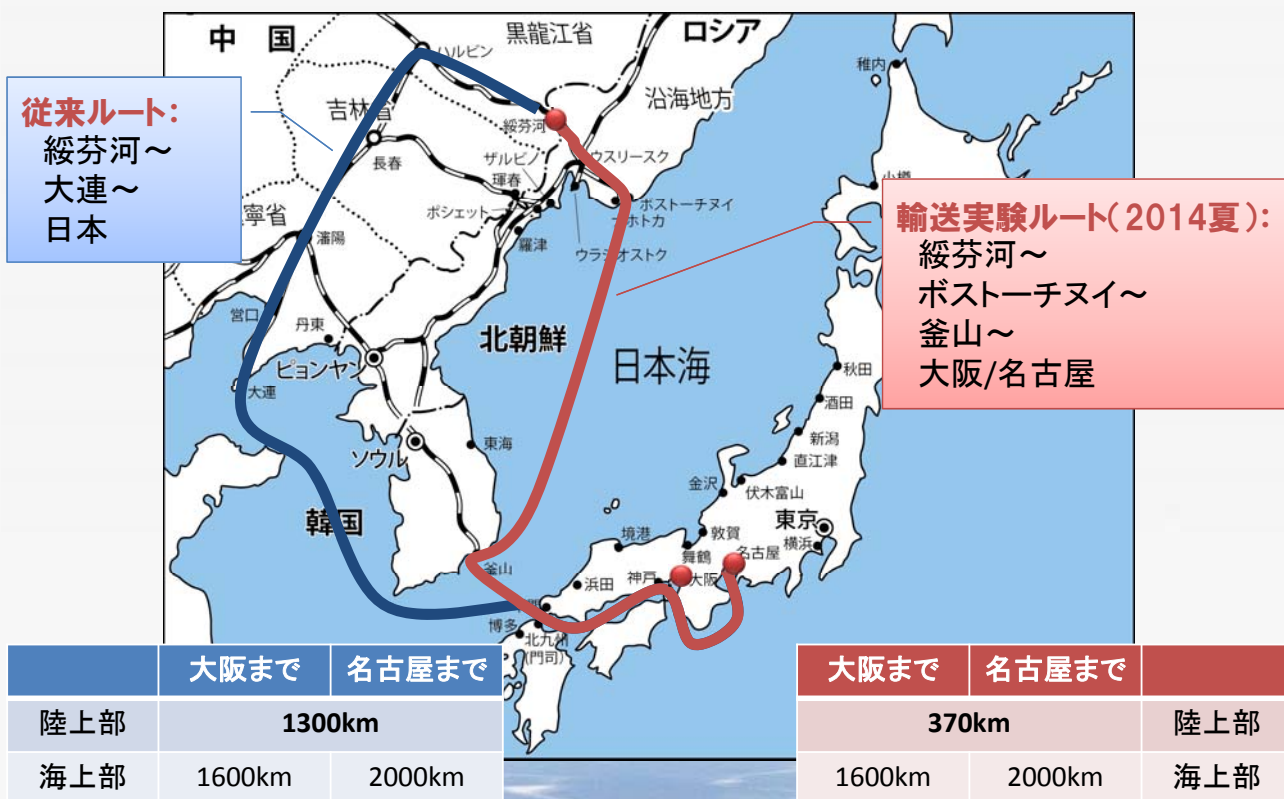
ザルビノ港
 「スンマ・グループ」が開発構想
 最大5,000万トン/年



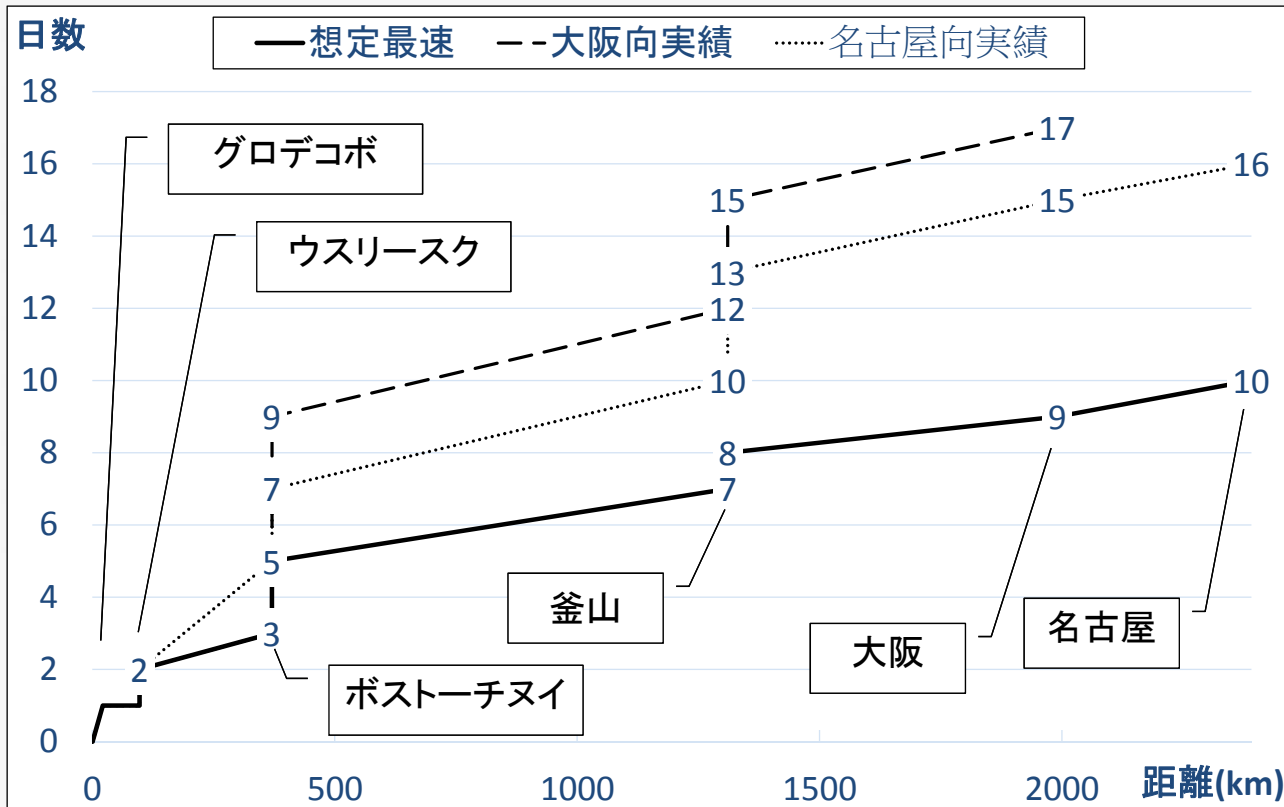
綏芬河発の輸送実験
問題の構造
活性化に向けた提言

ERINA・綏芬河市政府の共同研究

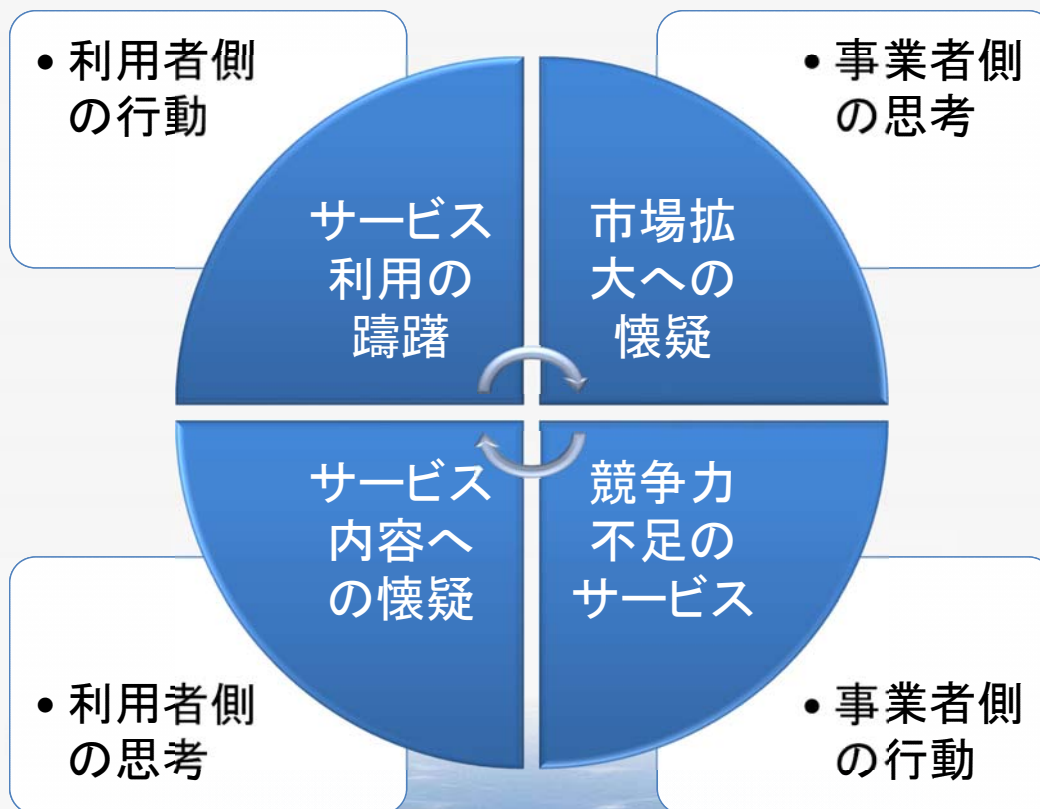
中国～ロシア～日本 コンテナ輸送実験



緩芬河からの輸送日数



問題の構造



活性化に向けた提言

1) 基本理念の明確化

- 社会全体に対して:「環境にやさしい」
- 潜在的利用荷主企業に対して:「輸送スピードが速い」
- 地元住民・企業に対して:「地域経済活性化につながる」

2) 推進体制の構築

- 戦略・工程表を策定。
- 常設会議を設置。
- 運営事務局を設置。

3) サービス水準の向上

- インフラ整備を進める。
- 民間事業者への支援を行う。
- 当事者間の連携を促進する。
- 法制度を改善する。
- 輸送実験を積み重ねる。

4) 利用促進

- 荷主企業向けに情報提供。
- 利用企業への支援。
- 貿易活性化を図る。

ご清聴ありがとうございました。